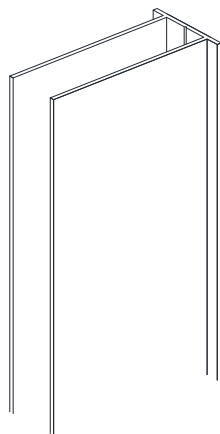


『割れない』 不燃認定シート製防煙垂壁 《パネルタイプ》

# S O S - P H 施工要領書

## (シャット・オフ・スモーク - パネルタイプ)



【 端部アルミ方立仕様 】

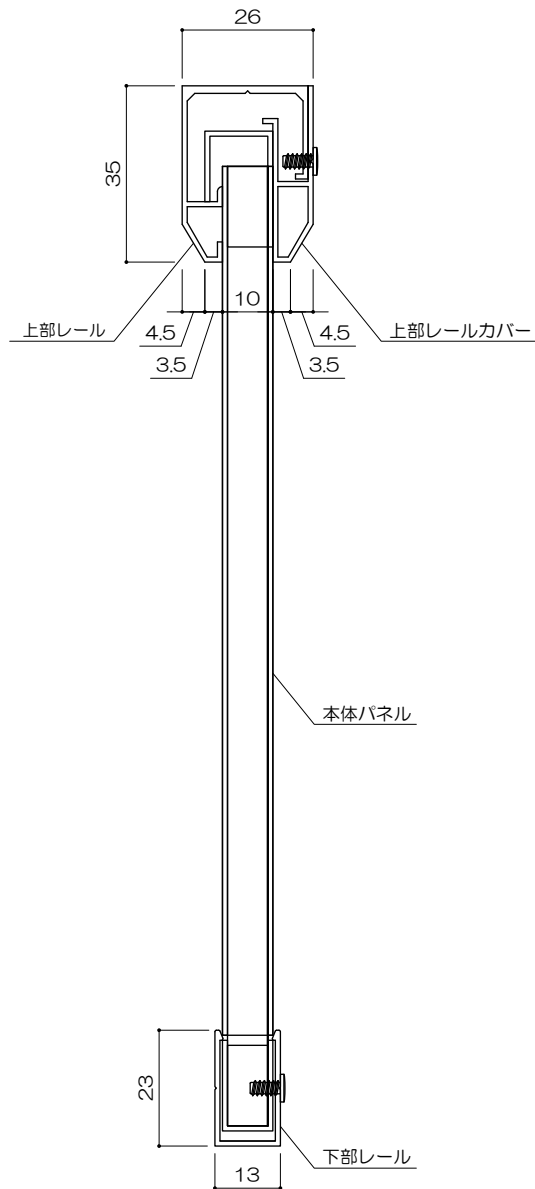
防煙垂壁  
bouen-tarekabe.net



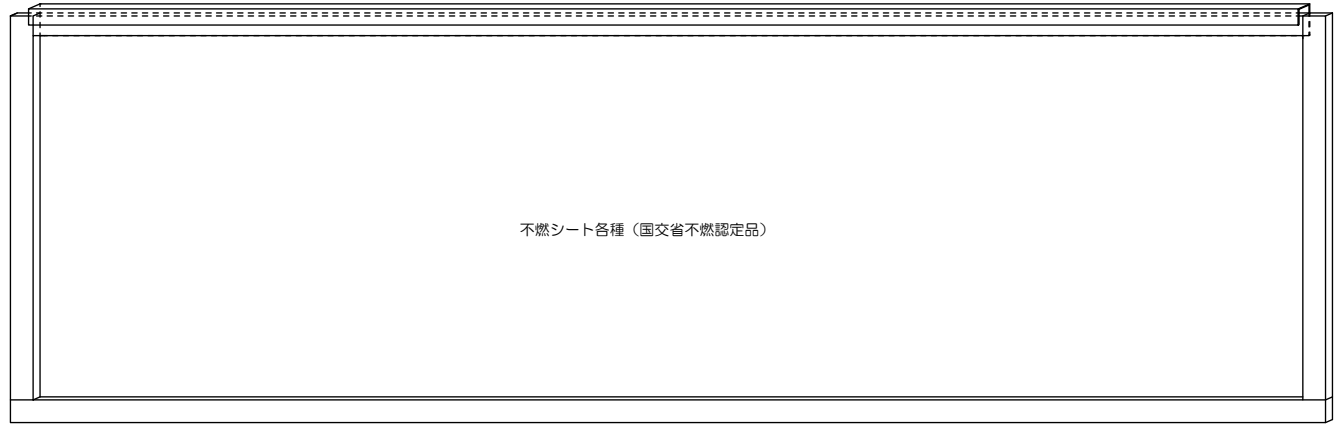
株式会社 タナテック

Ver. 5

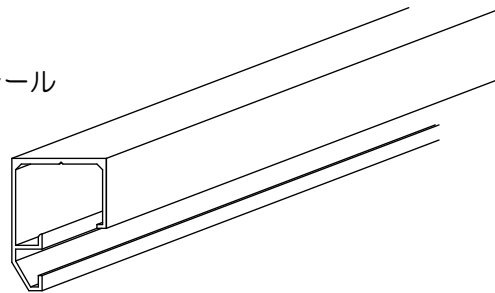
# SOS-パーツ一覧



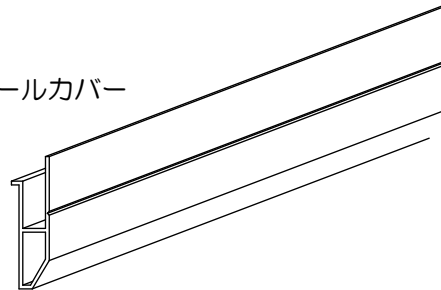
本体パネル



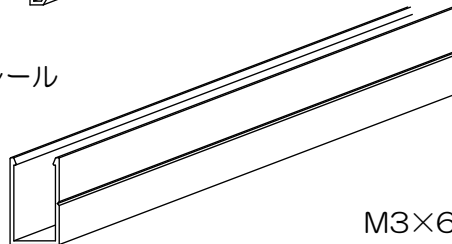
上部レール



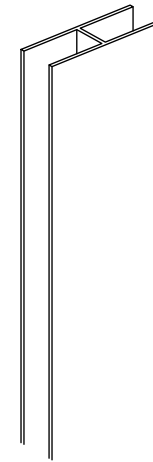
上部レールカバー



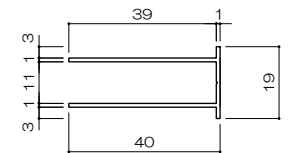
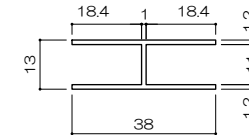
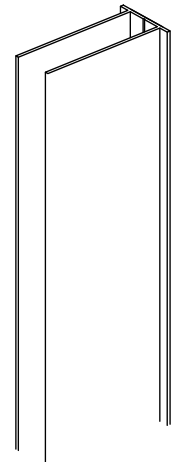
下部レール



中間(アルミ)方立



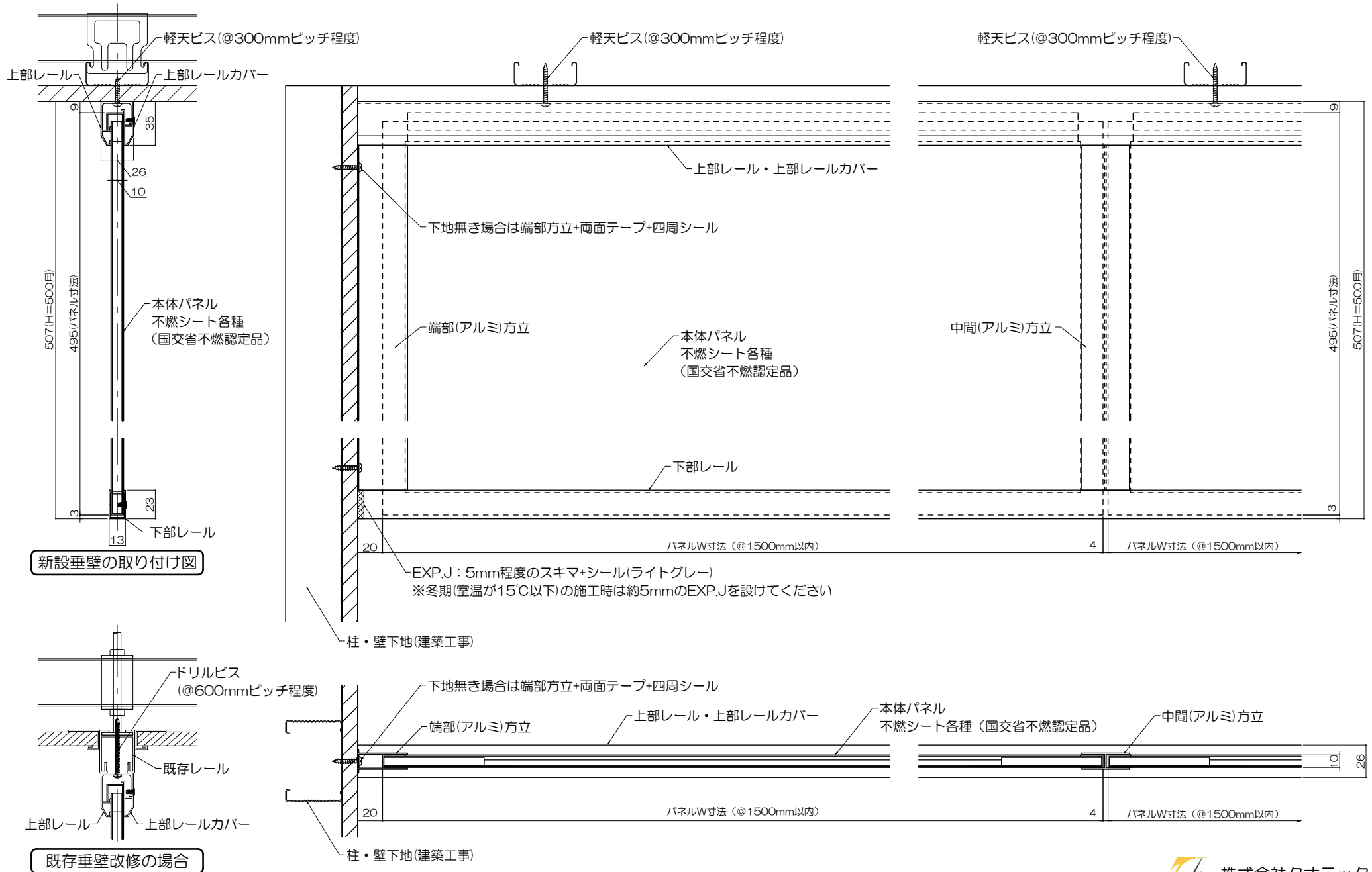
端部(アルミ)方立



M3×6(+超)低頭ビス



# 製品図



◎施工前に準備して頂く工具・資材・金物等

工具・資材・金物等	詳細	用途	確認
養生シート・養生テープ	ブルーシート ポリシート マスキングテープ	床養生 商品養生	
足場材 (現場にて準備頂ける場合を除く)	立ち馬(伸び馬)、ライトベース CH=FL+3,800程度まで 脚立+歩み板、アップスター、ローリング足場、高所作業車	上部レール材取り付け、パネル取り付け他	
インパクトドライバー	プラスビット(+1)、(+2)	上部レール材取り付け、パネル取り付け他	
卓上マルノコ	アルミ用チップソー	上部レール・下部レール材カット、パネルカット他	
プラスドライバー	No1、No2	パネル取り付け他	
新築物件：軽天ビス M3.5~3.8 改修物件：M4(ナベ頭)ドリルビス (商品名：テクス・ピラス)	軽天ビス：天井ボード 12.5mm+12.5mmの2枚まで・・・首下41mm ドリルビス：既存防煙垂壁上部レール材に取り付けの場合・・・首下45mm程度	上部レール材取り付け、端部アルミ方立取り付け	
レーザー・水系	新築物件：天井墨出し	上部レール材取り付け、端部アルミ方立取り付け	
M3×6(ナベ頭)タッピングビス	パネルに同梱(下穴Φ2.5)	パネル・下部レール取り付け	
キリ ランスタッチビス	Φ2.5、Φ4.5 M4×14(パネルに同梱)	M3×6タッピングビス下穴、パネルカット カットパネルの張り調整	
両面テープ	15mm巾程度	パネルカット、端部方立取り付け	
その他・・・	イレギュラーの状況に対応するために準備頂きたいもの		
シールガン			
シール	クリアーまたはライトグレー		
マスキングテープ			

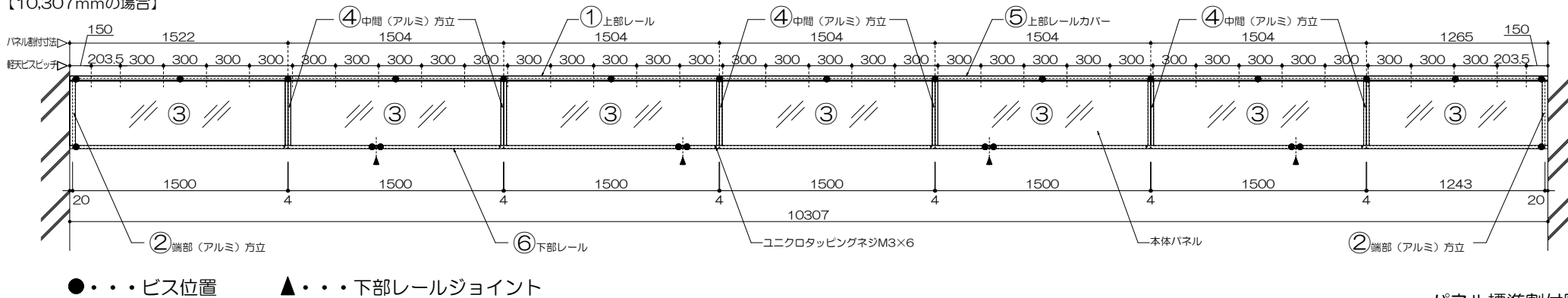
◎SOS-PH 取り付け手順・要領

手順	要領	使用工具・測定具・他	梱包材
① 天井への上部レールの取り付け 上部レール：L=3,000	軽天ビス（3.5φ程度）またはドリルビス（4φ程度）にて300mm～600mmピッチ程度で天井の軽天下地材（Mバー）または 【推奨】軽天下地材：約300mmピッチ 既存垂れ壁レールに取り付けます 既存レール材：約600mmピッチ 取り付けスタートおよびエンドはフレームの端から30mm程度です 上部レールの蛇行を極力少なくする為にはレーザー等を使用して上部レール内側に出ているセンタースジに合わせて取り付けると蛇行なくきれいに取り付けできます 下穴をあけておくとスムーズに取り付けできます	インパクトドライバー 丸のこ レーザーまたは チョークライン 下地センサーまたは 下地探し	ビスは同梱されていません 上部レールは同梱
② 端部（アルミ）方立の取り付け *PH=500用 L=449	上部レール芯に端部方立芯を合わせて上部レール下に取り付けます 壁・柱に下地があれば軽天ビスまたはドリルビスで2か所にて取り付けます 壁・柱に下地がない場合またはRC等の場合は端部方立を厚手の両面テープ（建材ボード・パネル仮止め用）にて仮止めし端部方立の四周をシリコンにてコーキングして固定します	インパクトドライバー ビット（No.2） 厚手両面テープ シリコンシーラント シールガン マスキングテープ	ビスは同梱されていません 端部方立は同梱
③ パネルの取り付け	パネルを上部レールに引っ掛けながら全数取り付けます 両端パネルと端部方立との隙間（20mm程度）およびパネル間の隙間（4mm程度）をバランス良く調整します パネルを持つときは手袋をし養生シートの無い四周のシート部に指紋、手垢を付けないように留意します パネルを持つときは上枠または下枠をしっかり持ちます パネルの縦材を持つと縦カバーが外れてパネルが落下する恐れがありますのでご注意ください		パネルは同梱
④ 中間（アルミ）方立の取り付け *PH=500用 L=449	パネルの取り合い部に下部または横から中間方立を挿入し、落下しないよう養生テープやマスキングテープにて仮止めしながらパネルの全ジョイント部に中間方立を挿入して行きます パネルの隙間バランスを最終確認します	マスキングテープ 養生テープ	中間方立は同梱
⑤⑥ 上部レールカバーおよび下部レールの取り付け 上部レール側面カバー：L=3,000 下部レール：L=2,100	上部レールカバーと下部レールを並行して取り付けていきます ◆上部レールカバーの取り付け ※ 下穴（2.5φ）を開けてください 端部は壁・柱より30mm程度離れた位置にビス（M3×6）にて締結します パネル中間部、ジョイント部の順にビス（M3×6）にて締結します ◆下部レールの取り付け ※ 下穴（2.5φ）を開けてください 端部は壁・柱より30mm程度離れた位置にビス（M3×6）にて締結します ジョイント部より左右10mm程度離れた位置にビス（M3×6）にて締結します （下部レールはパネルの下枠に勘合します） ※ ビス位置は取り付け手順・要領図にて確認してください ※ 下部レールの小口が変形（輸送中）している場合は丸のこにて切り落とししてください	インパクトドライバー ビット（No.2） キリ（2.5φ）	M3×6は同梱
⑦ 養生シート剥がし・自主検査	パネルを吊り終えたら養生シートを剥がして外観の最終確認をする ※ 養生シートを剥がすか否かは現場にて確認してください （工事の工程上 ホコリがつく場合があります）		

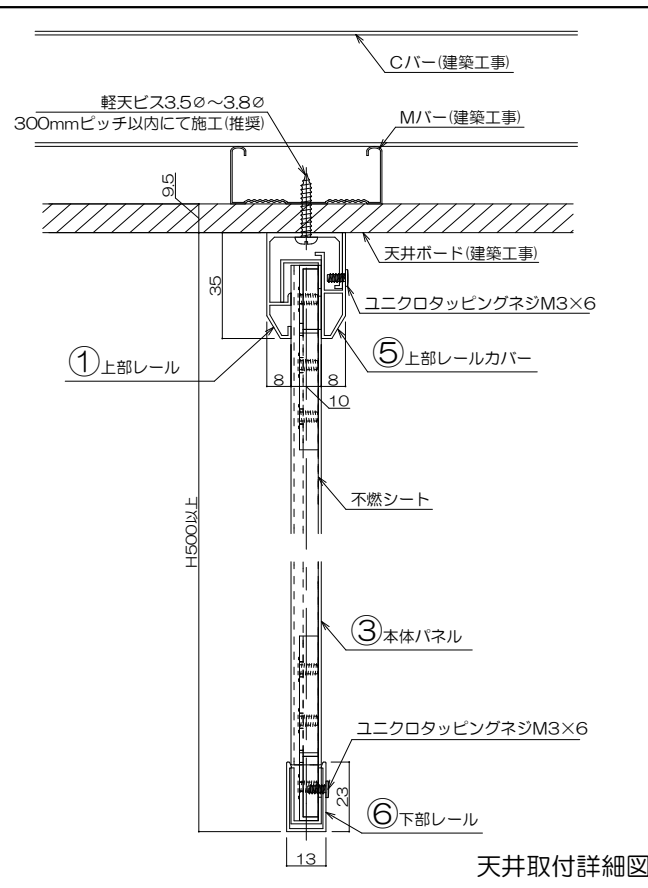
\* 上記手順の番号は取り付け手順・要領図の振り番号を参照願います

# 取り付け手順・要領図

【10,307mmの場合】



パネル標準割付図



天井取付詳細図

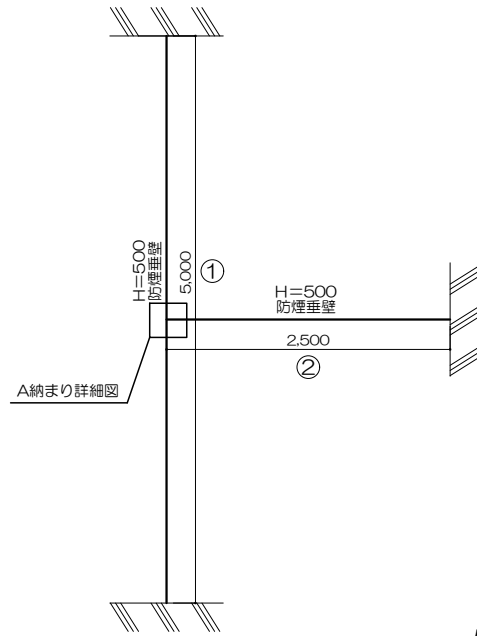
※ パネル間のクリアランスの目安

~H500	~H600	~H700	~H800	~H900	H1000~H1500
4mm	5mm	6mm	7mm	8mm	10mm~12mm程度

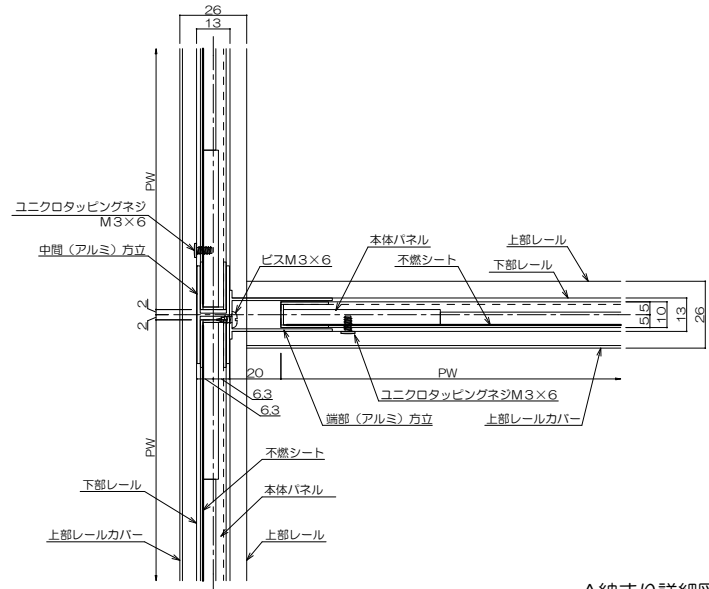
※ 冬期（室温が15℃以下）の施工時は

下部レールの両端部に5mm程度のクリアランス（エキスパンション）をとり  
 シールにてスキマ処理してください。エアコン等の熱風にて急激に加熱されると  
 下部レールの膨張により、垂れ壁の通りが悪くなる（蛇行して見える）場合があります  
 【 因みに、室温が10℃上昇すると 10Mのスペンで約2.5mm膨張します。】

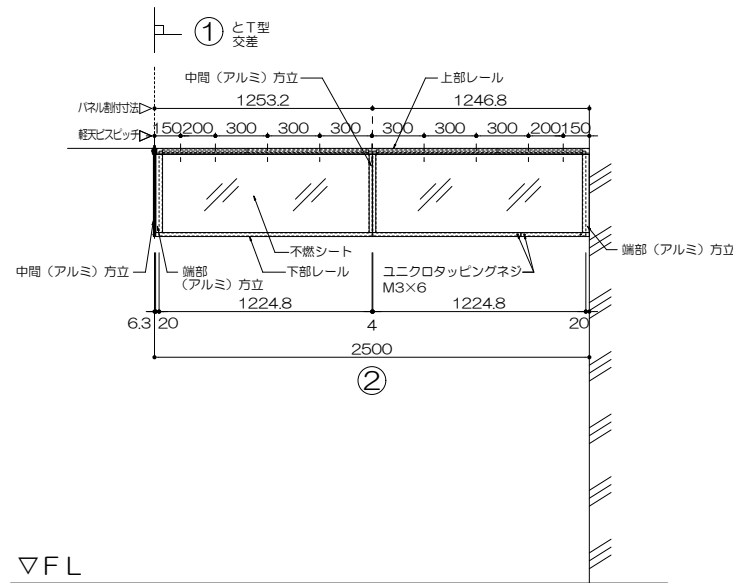
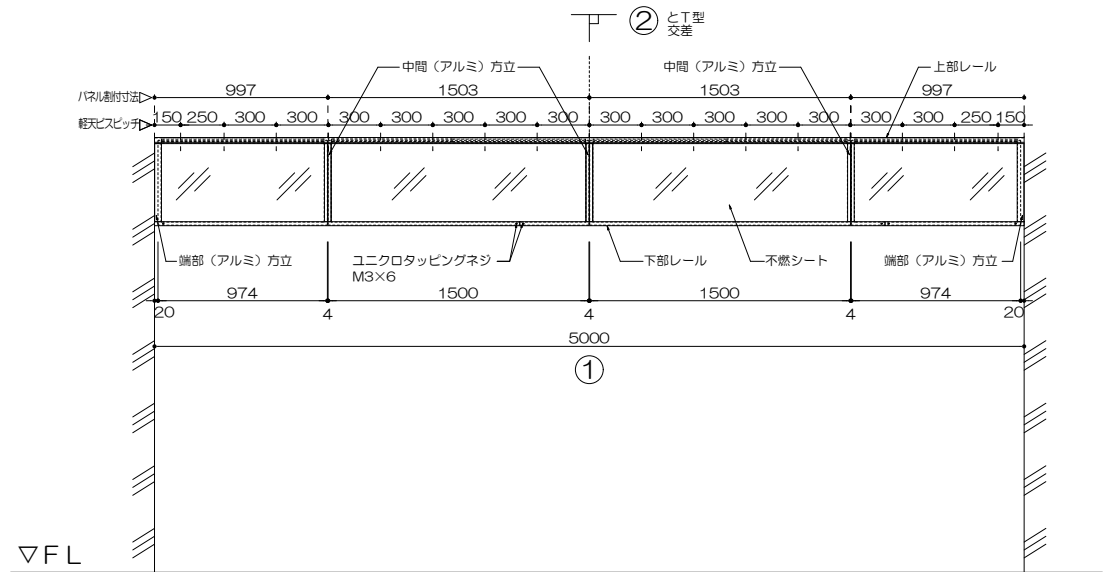
# T型 納まり図



パネル防煙垂壁配置図

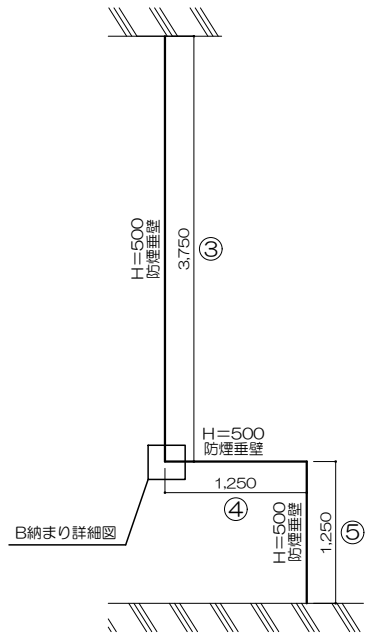


A納まり詳細図

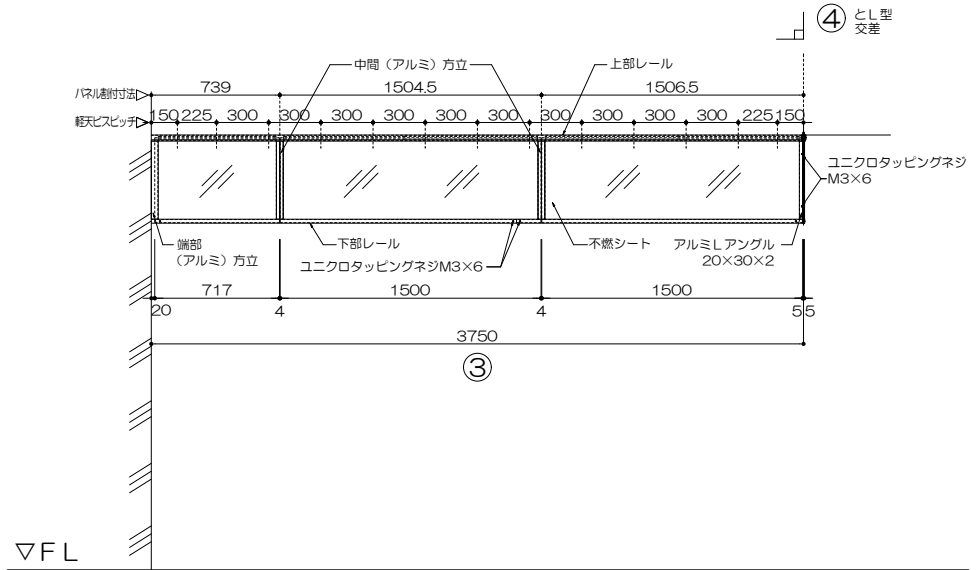


パネル防煙垂壁展開図

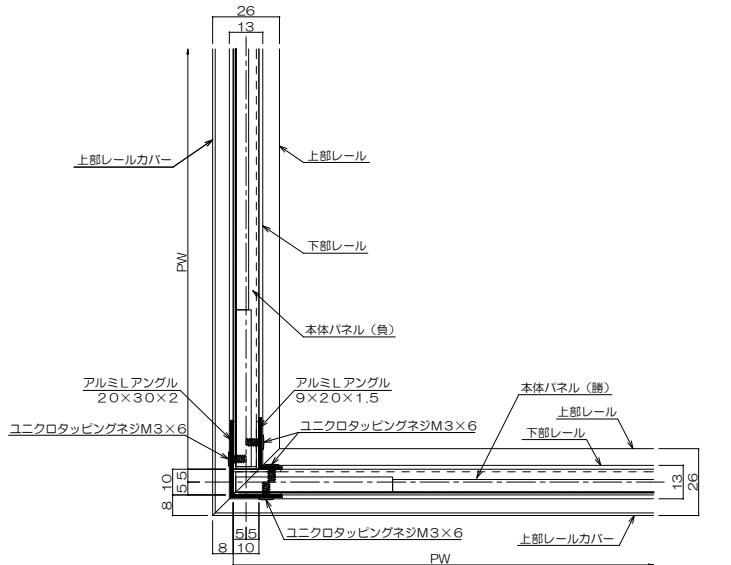
# L型 納まり図



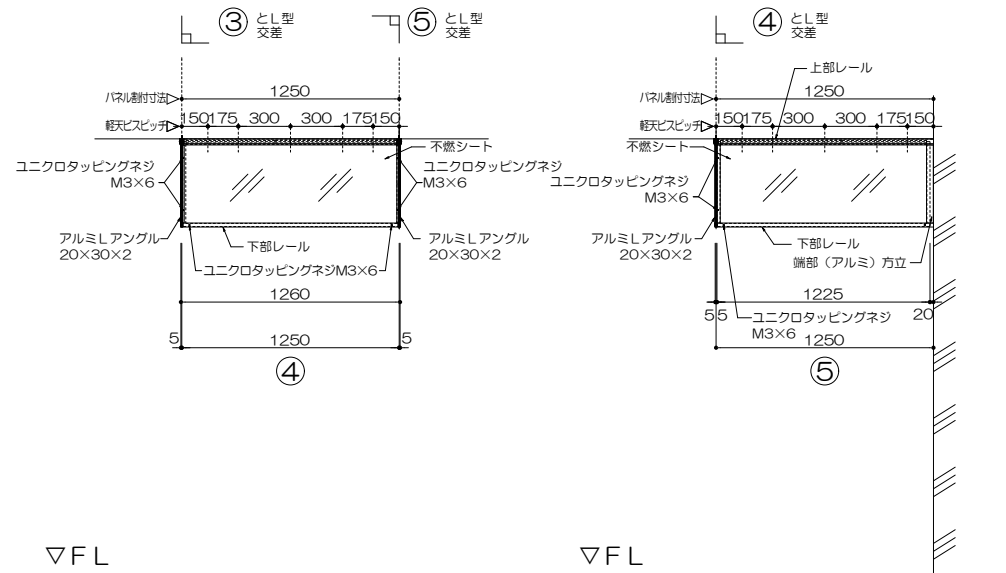
パネル防煙垂壁配置図



▽FL



B納まり詳細図



▽FL

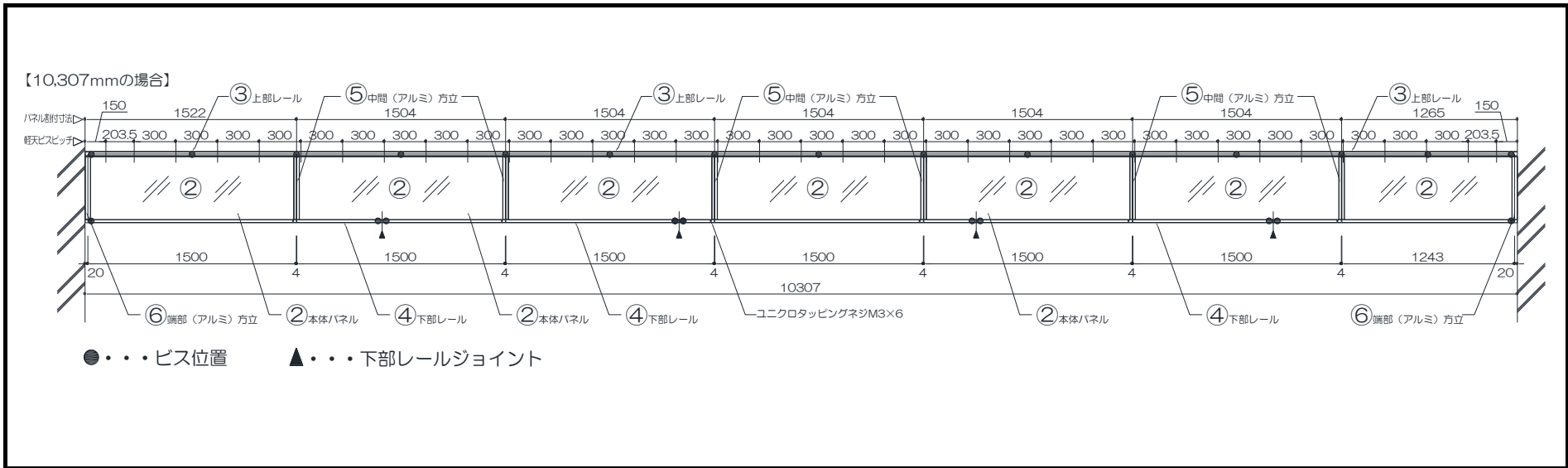
▽FL

パネル防煙垂壁展開図



# 自主検査表

検査日： 年 月 日 検査員： \_\_\_\_\_  
 検査日： 年 月 日 検査員： \_\_\_\_\_  
 検査日： 年 月 日 検査員： \_\_\_\_\_



① 全般	確認
移動した什器、商品は元の位置に戻している	
施工範囲、加工場の清掃は十分に行っている	
養生等の撤去忘れはない	
資材、工具、足場仮設材、空箱等の置き忘れはない	
休憩所はきれいに片づけた	

④ 下部レール	確認
本体パネルの下枠に吻合している	
両端にM3*6のナベビスで締結されている	
汚れ・キズがない	
目違い・スキマがない	
ビスの打ち漏れがない	

② 本体パネル	確認
パネルのH寸法が図面と一致している	
シートに汚れ・キズがない	
シートにシワがない	
養生フィルムを剥がした	
パネルの通り・タチに問題なし	

⑤ 中間方立	確認
本体パネルの縦枠は左右均等に4mm以下に納まっている	
汚れ・キズがない	

③ 上部レール	確認
取り付け位置が図面と一致している	
汚れ・キズがない	
目違い・スキマがない	
通りが出ている	
ビスの打ち漏れがない	

⑥ 端部方立	確認
軽く叩いてみて動かない	
本体パネルの縦枠は方立内に納まっている	
柱面・壁面に汚れ・キズ・塗装剥がれ・クロスの破れ・メクレ等はない	